



祈願  
の

儀

搾  
精

豊穰

作者の許可なく  
「作品の無断転載・複写・web上へのアップロード」  
はおやめください

都会での喧噪に  
疲れた私は  
とある山奥の田舎に  
引っ越して来た。

そこには村で  
唯一の神社がある。

そしてこの神社の  
一人娘である彼女

綾子さん！

水野さん！

今日は  
どうされた  
のですか？

いやあ  
今日は綾子さんと  
お茶でもしたいなあ

かみえ  
神依綾子さんに  
恋をしてしまった

…なんて



すいません…  
今日は儀式があるので  
ここを離れられないのです

今日はこの神社で  
村の繁栄を願う  
儀式があるんです

そこで私が神子として  
お努めをするのです



あつ…  
水野さんは越してきたばかり  
ですから知らないですよ

…儀式？

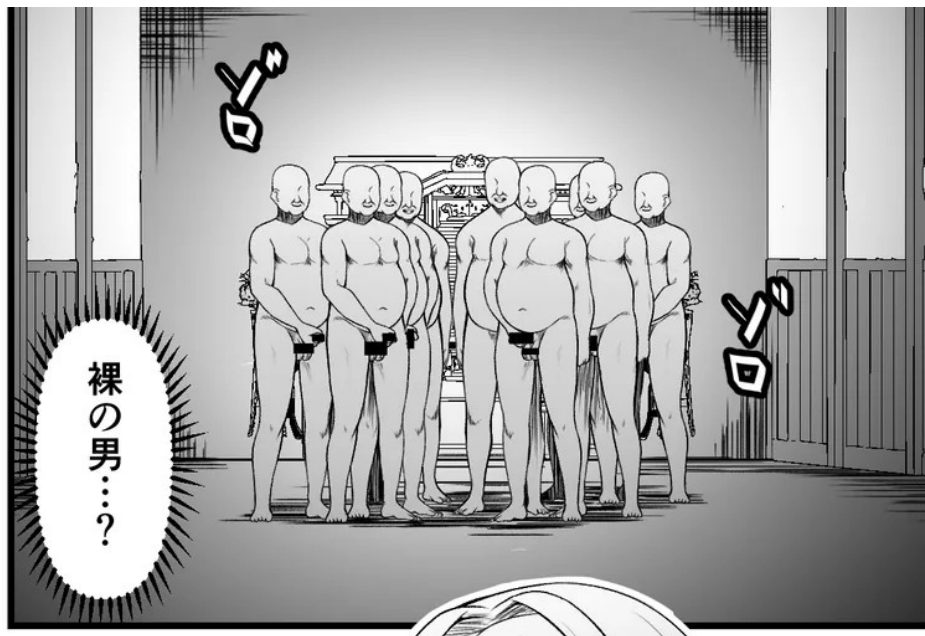


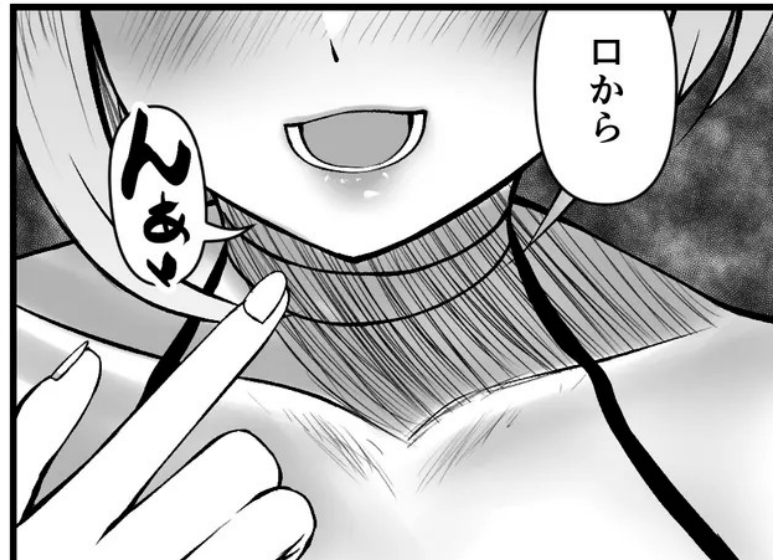
それでは  
行きましようか



儀式ですか…  
せっかくですから  
見てみたいですね

ええ  
もちろん  
構いませんよ

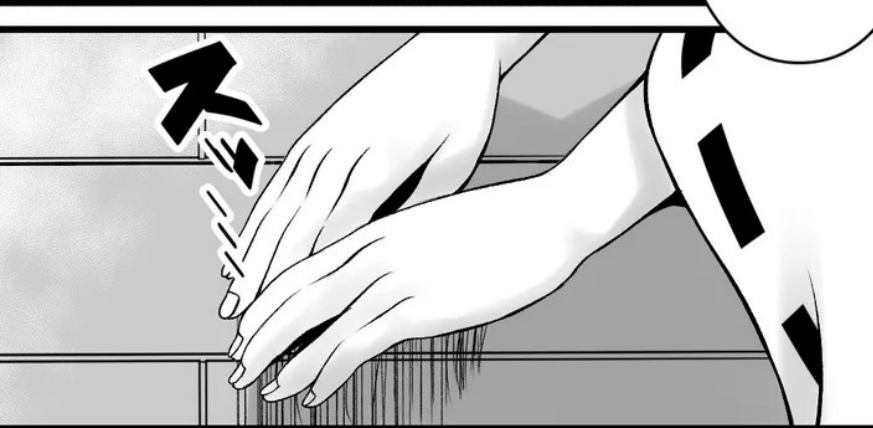






これがこの神社に伝わる  
子種奉納の儀です

その子種で満たされた体で  
神様に祈りを捧げることで  
村の繁栄を願うのです



それでは今から  
搾精豊穰祈願の儀を  
執り行います。



皆様の溜まった  
子種を…

神子である私に  
注ぎくださいませ…♥





いきなりの  
バキュームフェラ…!

口の中で舌が  
にゆるにゆる  
絡みつく…!



緩急のつけ方  
上手すぎる…!

わしも我慢  
できんぞ…



激しい  
フェラ…!



と思いきや  
裏筋舐め…!



気が利かなくて  
すいません♥



わしのも  
しゃぶってくださいよ



ふおお  
口の中温かくて  
気持ちええ♥

神子様の  
口まんこは  
格別じゃ♥



んんん



ぬほ





そんなに一度に出されては  
口に入りません♡

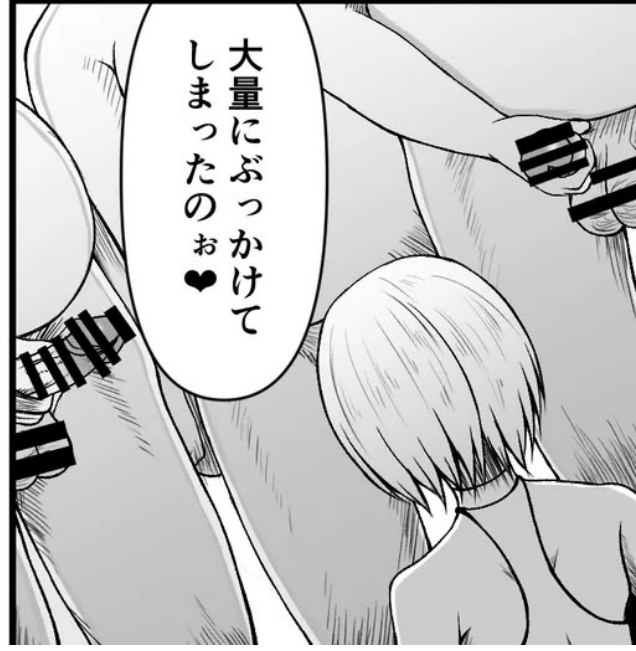


わしも  
射精るっ!!



どろどろで  
すけべじゃな♡

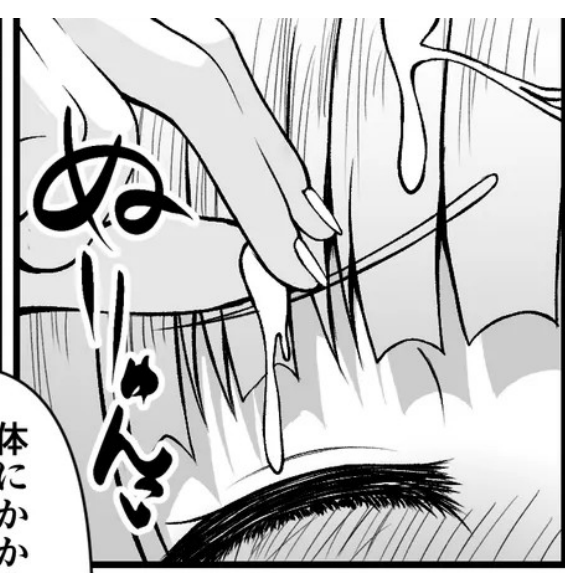
皆様の精液  
とっても  
熱いです…♡



大量にぶっかけて  
しまったのぉ♡



体にかかったものも  
しっかり  
いただきませんと……♡



はあ……♡  
皆様の子種で  
満たされていきます……♡







皆様のおちんぽ  
まだまだ元気ですね♡



とても元気な  
子種でした…♡

皆様の子種確かに  
頂戴いたしました♡



やっぱり…



まんこに  
入れんとな♡

そうですね♡  
いっぱい注いで  
いただきますと♡

早く  
入れたいのお♡

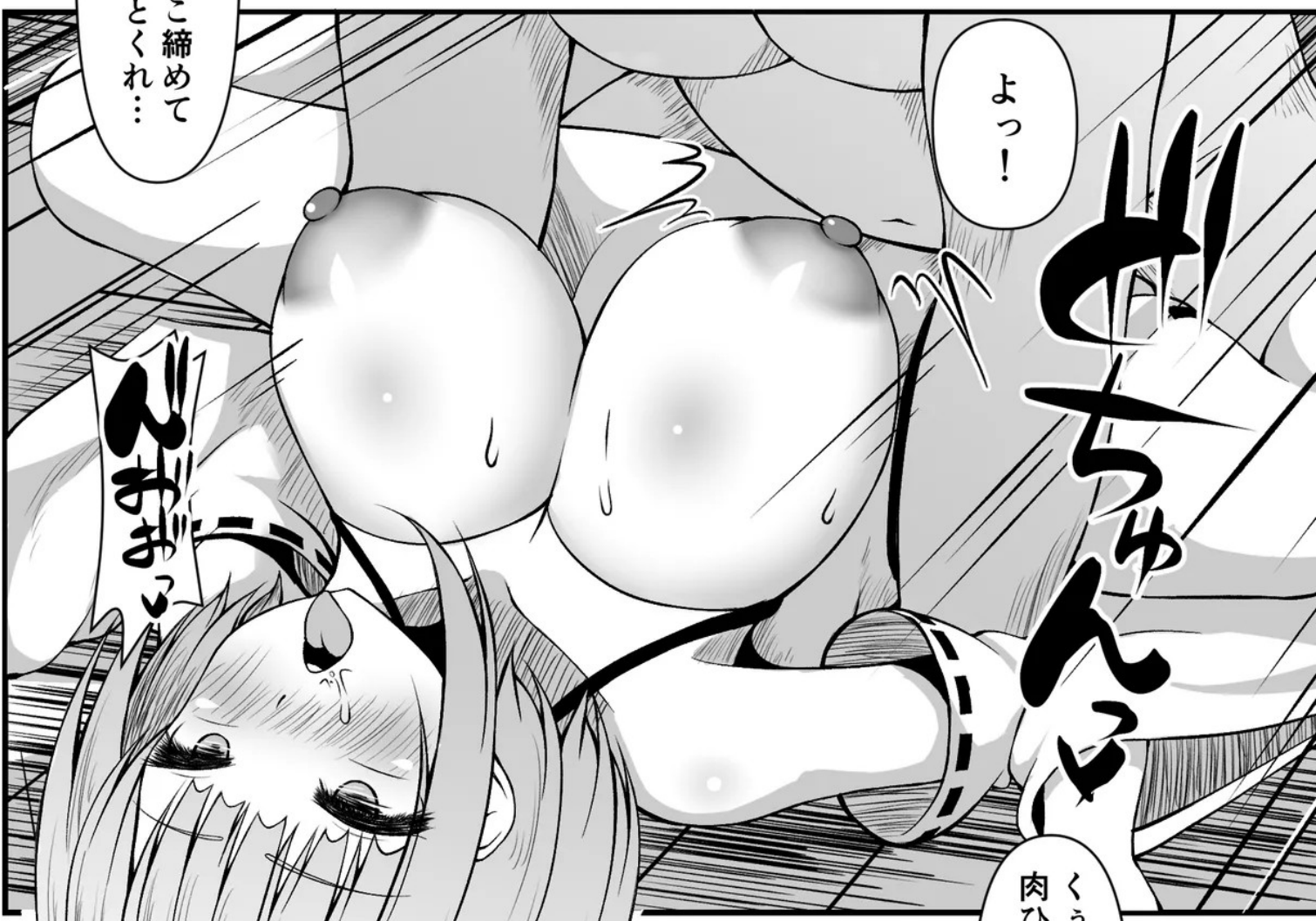


わしが一番  
もらうかの



へへ…  
それじゃ…

ちゃんとまんこ締めて  
気持ちよくしとくれ…



よっ!

ちゅん  
ちゅん  
ちゅん

くうっ…  
肉ひだみっちりで…

うねっとる…!



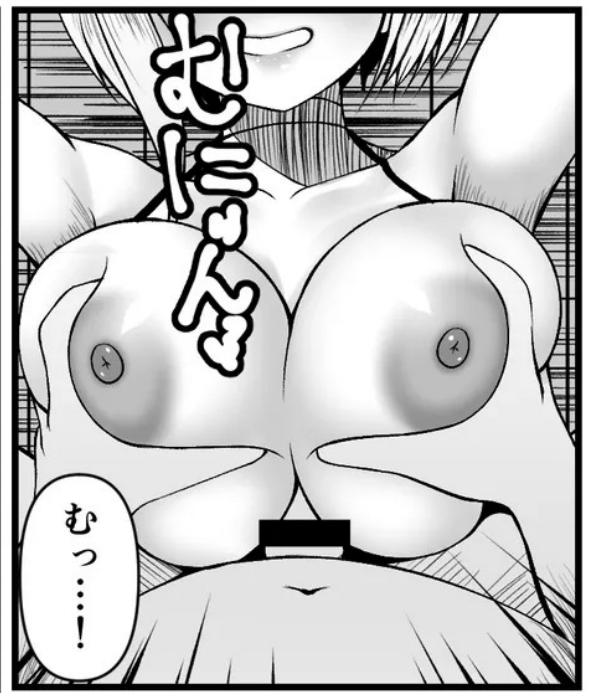
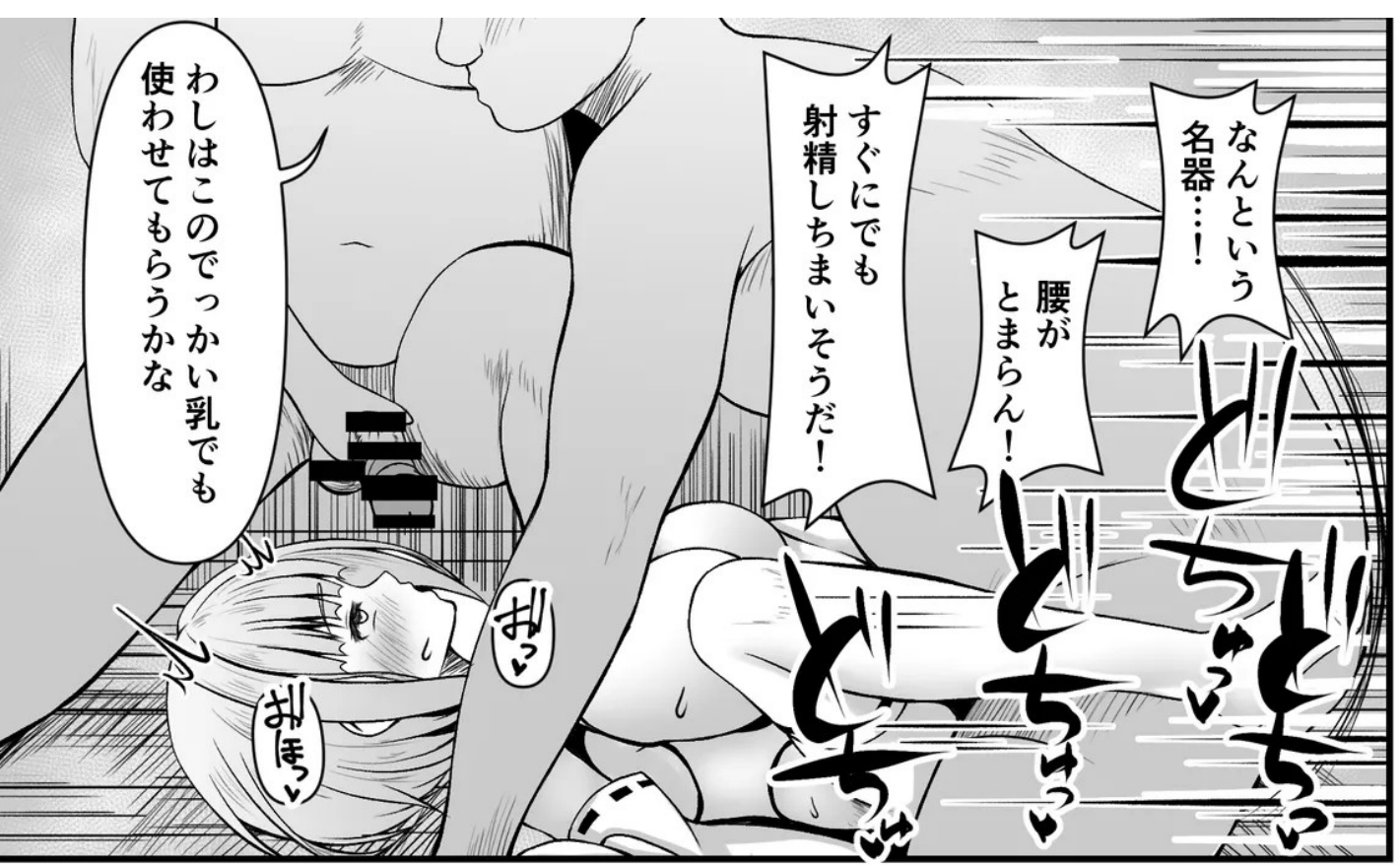
んおっ  
んおっ  
んおっ

ちゅん  
ちゅん  
ちゅん

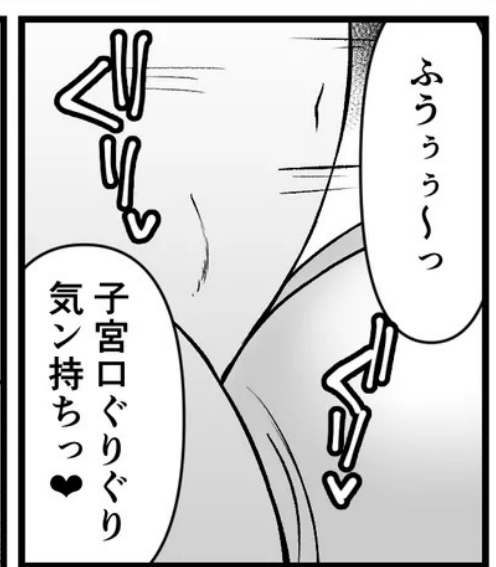
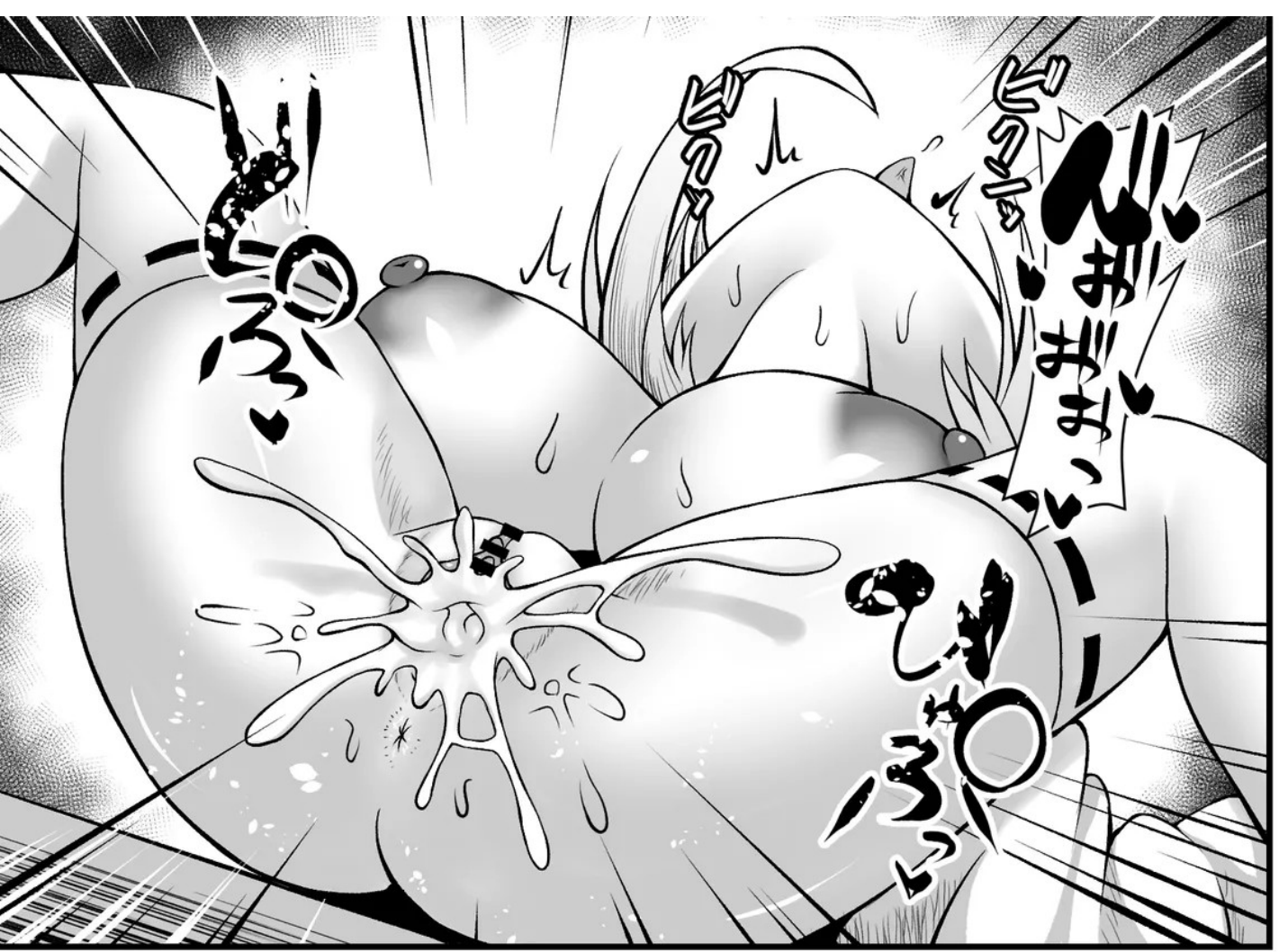
ちゅん  
ちゅん  
ちゅん

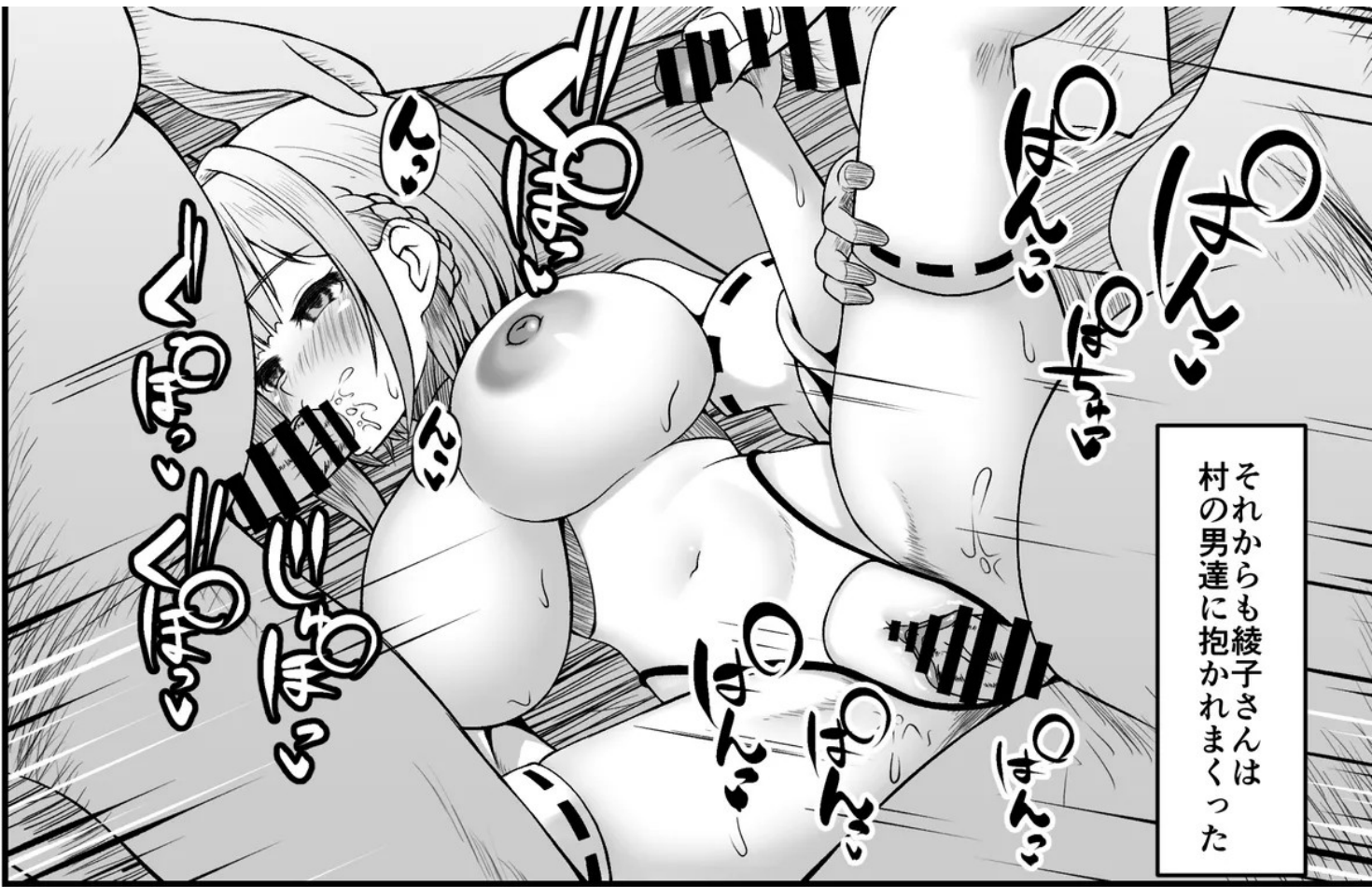
ちゅん  
ちゅん  
ちゅん

ちゅん  
ちゅん  
ちゅん

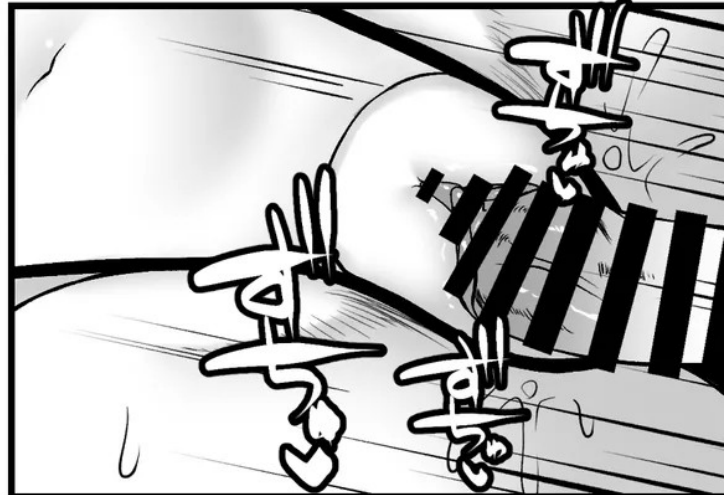








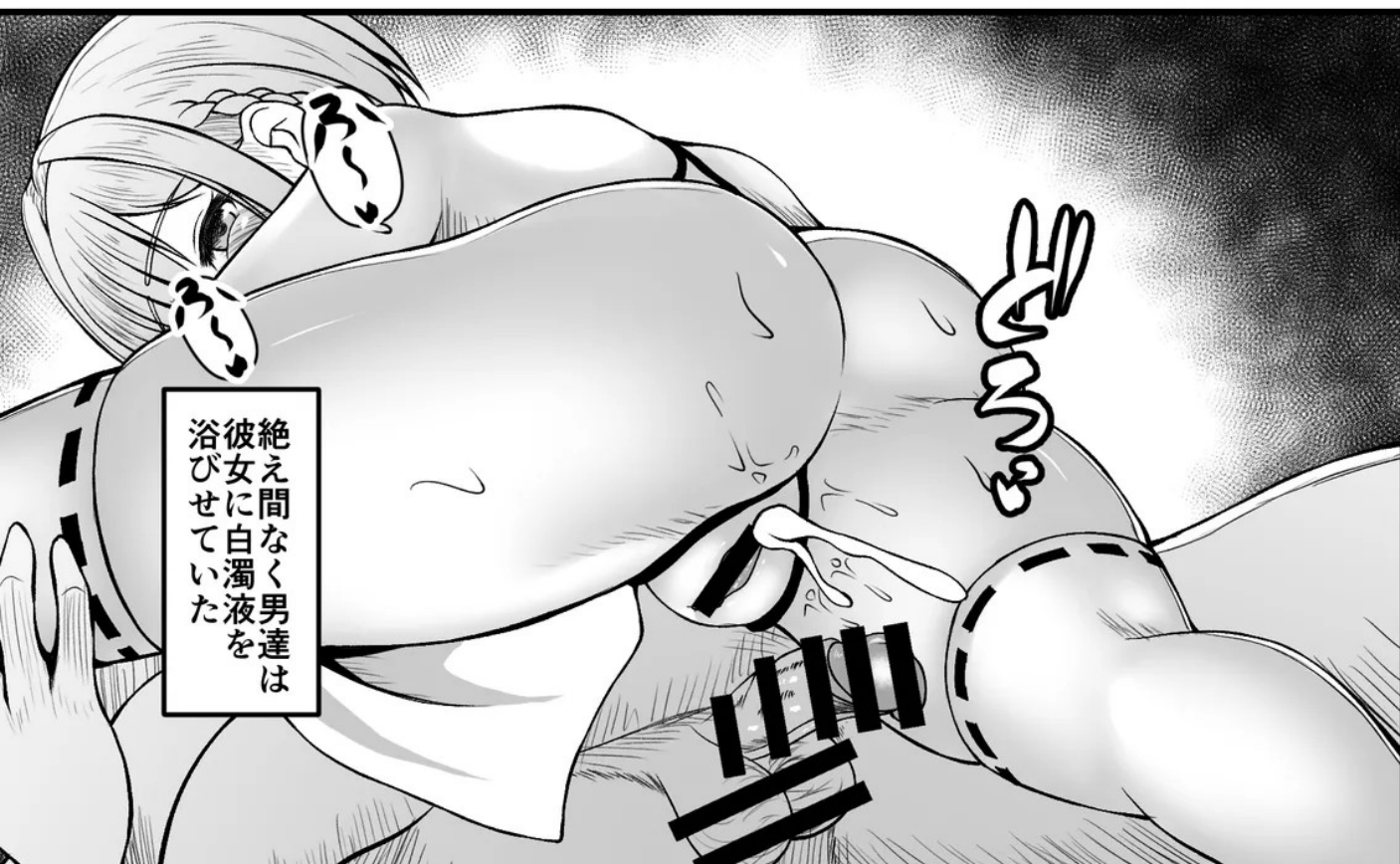
それから綾子さんは村の男達に抱かれまくった



口にも出されていた



まんこに中出しされ





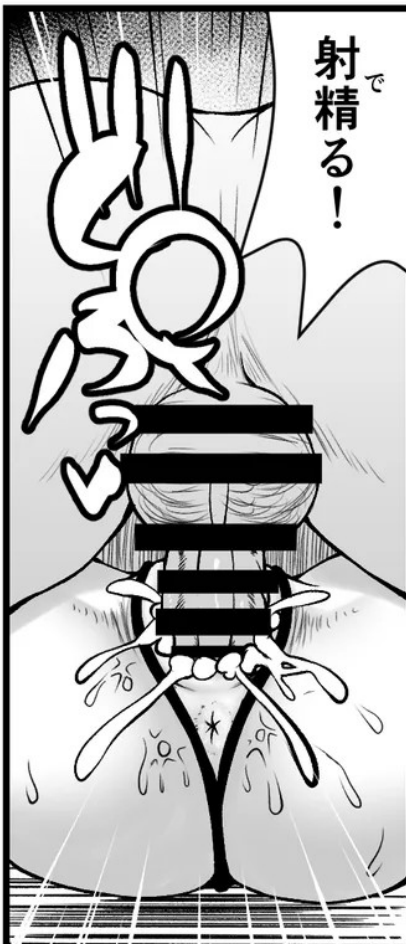
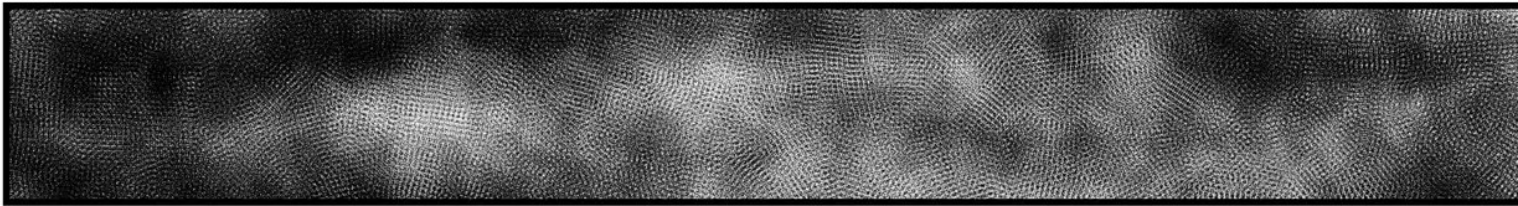
村の繁栄とためと  
いっているが…



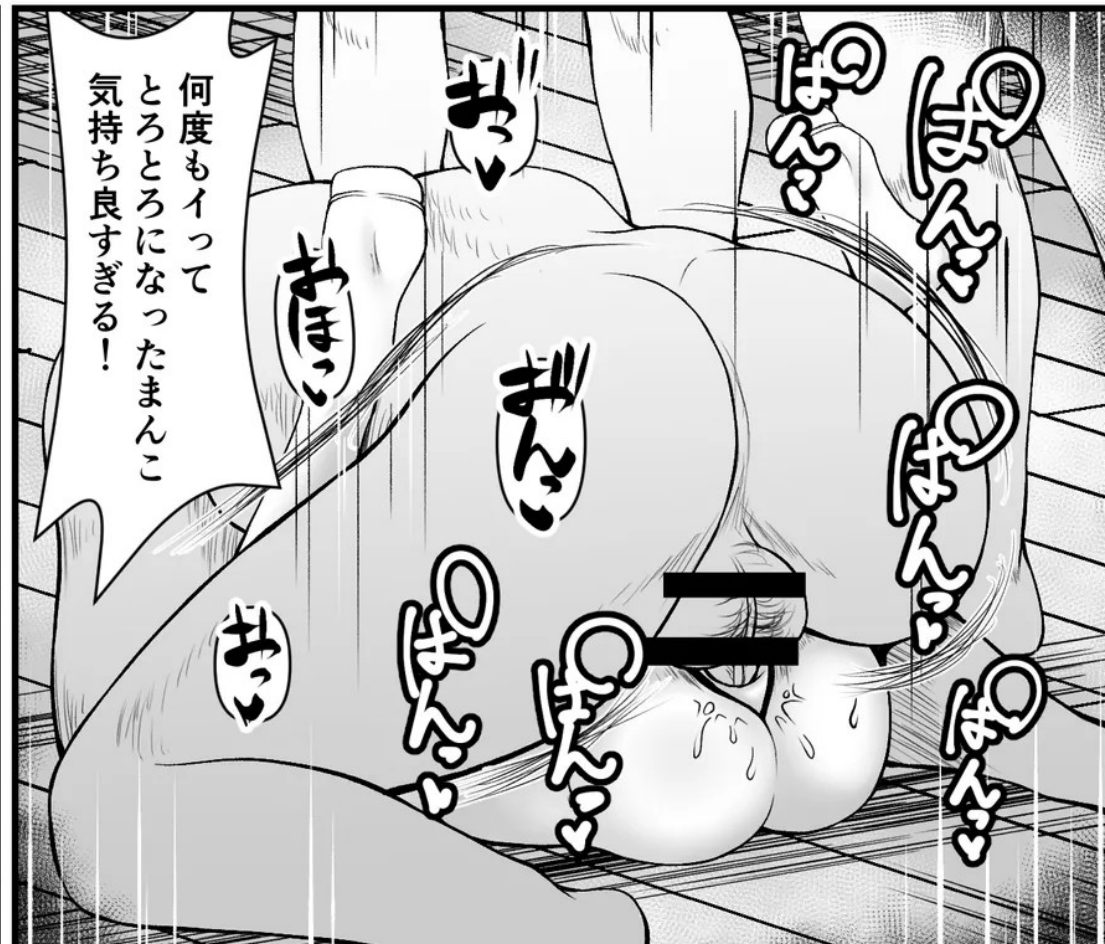
あの  
表情は…



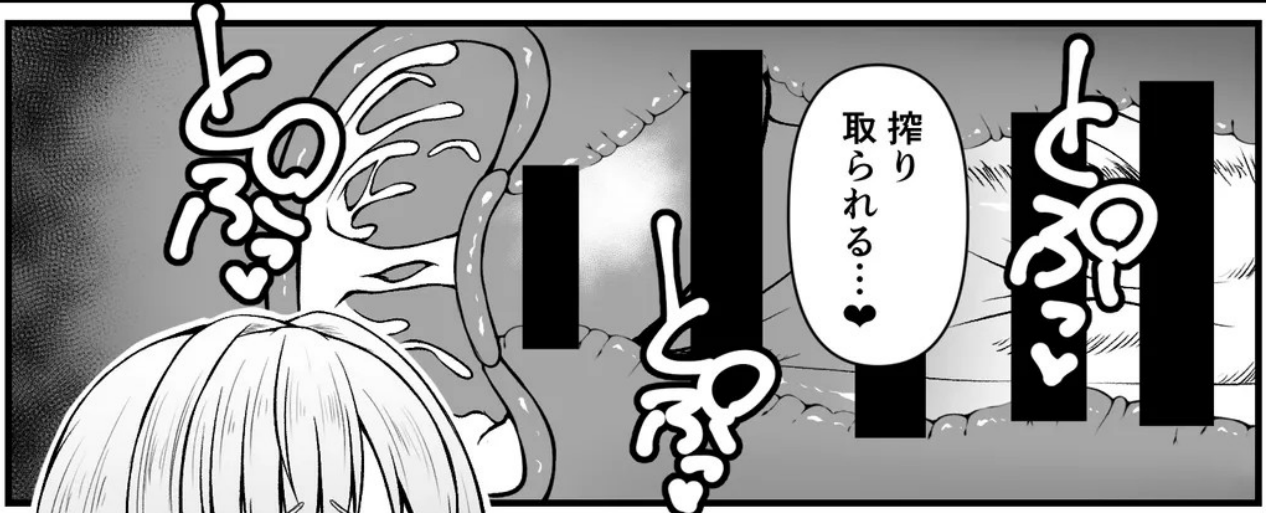




で  
射精する！



何度もイって  
とろとろになったまんこ  
気持ち良すぎる！





それじゃそろそろ  
仕上げに入るかの

最後はわしらが  
まんに直接射精して  
注ぎ込むからの

いっせいの  
おまゝ



ありったけの  
ザーメン出すから

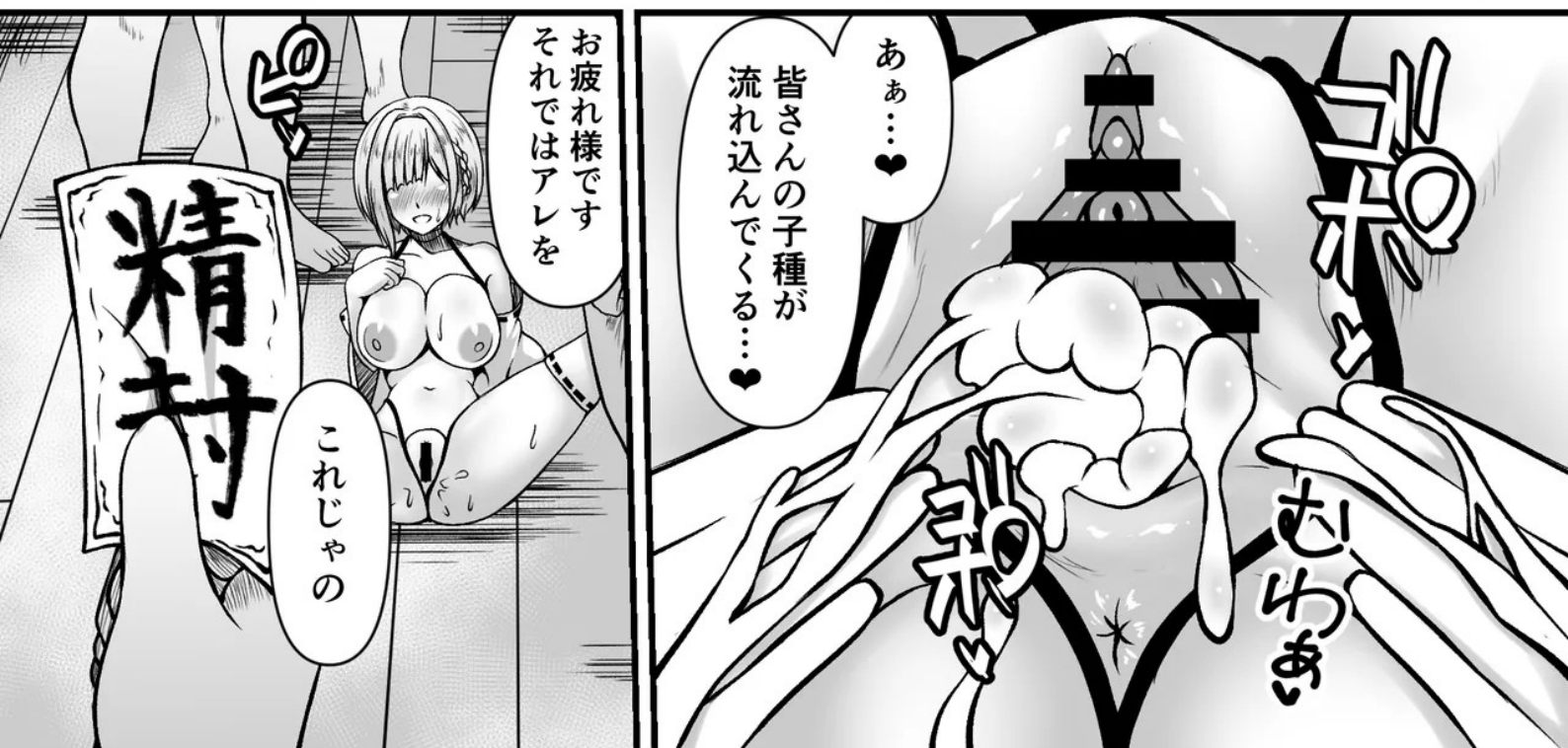


皆様の子種全て  
注いでください

はい♡



まんこでしっかり  
受け止めるっ!!



ゴッ

お疲れ様です  
それではアレを

これじゃの

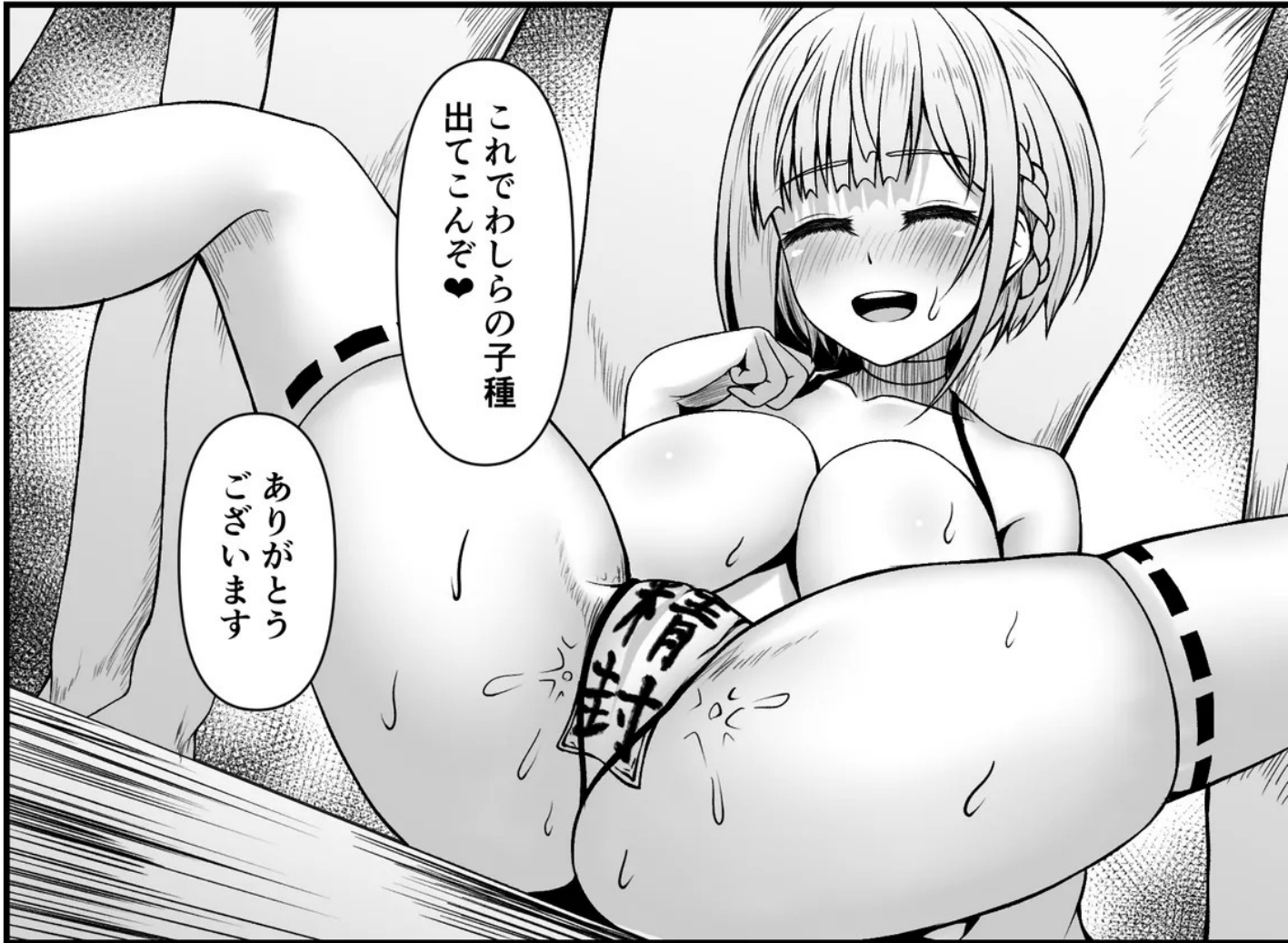
あぁ...♡  
皆さんの子種が  
流れ込んでくる...

ゴッ

びゅん

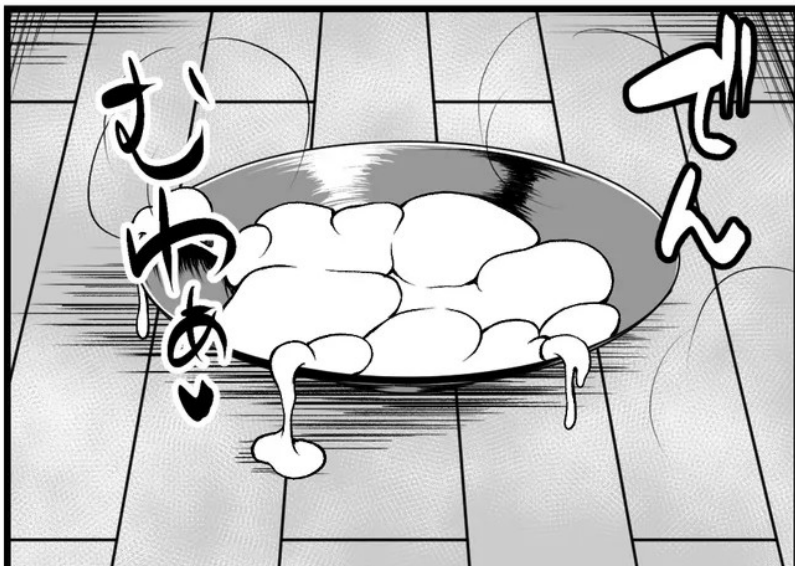


ちゃんと剥がれん  
ようにせんと



これでわしらの子種  
出てこんぞ♥

ありがとうございます  
ごぞいます



むゅゅ

でん



それじゃ  
わしらのこれ  
受け取ってくれるかの



わしらの  
子種を溜めた  
盃じゃ

まあ…♡  
こんなに  
たくさん…♡



皆様の元気な  
子種の香りがします…♡

むやあ



それでは  
いただきます…♡

ムン



申し訳ございません  
はしたないところを...

いやあ  
良い飲みっぷり  
でしたぞ



皆様のおかげで  
私は精で満たされました

それでは…

これにて儀式は  
終了いたします



皆様に  
幸福が訪れることを  
祈っております

やっぱり綾子ちゃんの  
まんこは最高じゃったのう

これで今年も  
村は安泰じゃ



綾子さんは  
村の人を思っ  
て抱か  
れているのか…？

でもあの表情は  
セックスを  
楽しんで  
いる顔だ…

本当は変態で  
悲しいはずなのに…

困惑して  
いるはず  
なのに…



どうして  
私のちんこは  
勃起して  
いるんだ…！





綾子さん…



綾子さんは  
こんなことをして  
嫌ではないんですか…？



いかが  
でしたか？





皆が  
気持ちよく  
なれて

神様のために  
この体を使うことが  
出来るのですから…♡

とてもすばらしいこと  
じゃないですか♡



クッ、  
嫌だなんて…  
そんなわけない  
じゃないですか

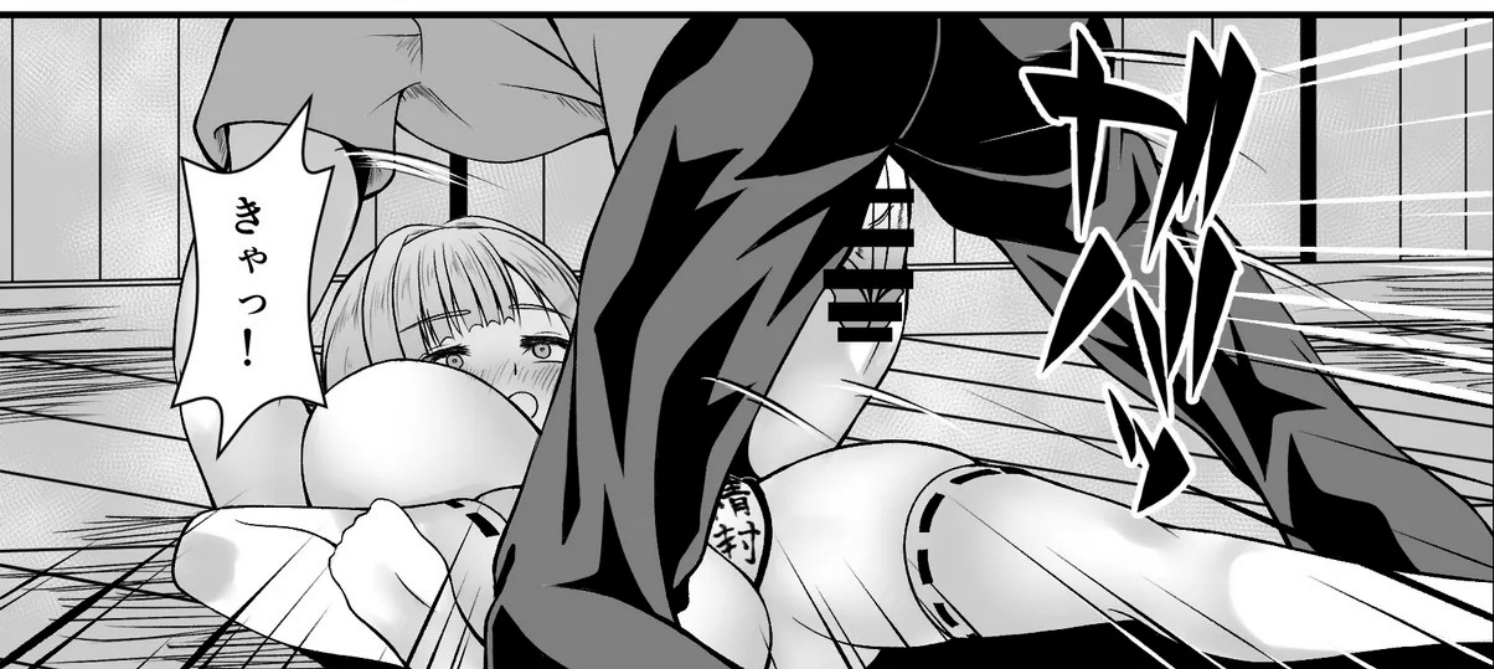


あら？

イカレて  
しまってる…



彼女はもう…





いけません！

これでは  
神様に捧げる  
精液が流れて  
しまいます！

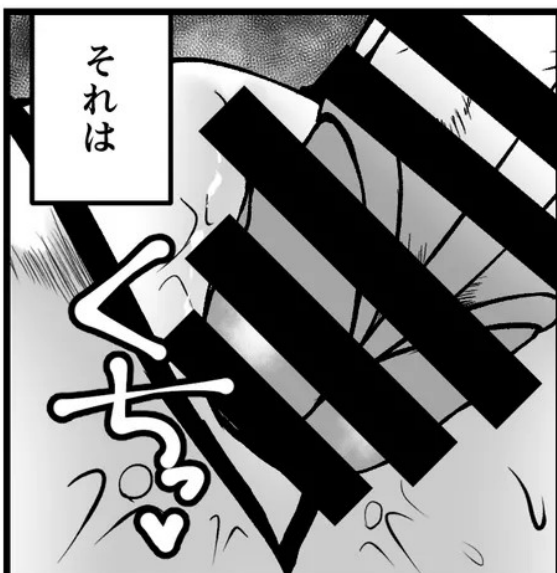
どろー

透子さんが  
イカレた人だと  
悟っても

彼女のことが  
まだ好きなことに  
わけがわからなくなった



彼女が大事にしている  
儀式を台無しにしても



それは

ぐちゃ



私の頭の中は  
一つのこと  
で埋め尽くされた

彼女を  
孕ませたかった

おん

ご購入  
ありがとうございます  
ゴザイました!

Sign

数ヶ月後の姿







